

各位

2019年4月26日
大原薬品工業株式会社

「肝硬変の生命予後を改善する革新的抗線維化薬の研究開発」に関する 産官学共同研究開発契約の締結及び研究開発開始のお知らせ

大原薬品工業株式会社（本社：滋賀県甲賀市、代表取締役社長：大原 誠司、以下「当社」）は、C型及びB型肝炎ウイルスに起因する肝硬変治療薬(OP-724)の研究開発を開始しましたことをご知らせいたします。本研究開発は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下、「AMED」）が公募していた平成30年度「医療研究開発革新基盤創成事業（以下、「CiCLE」）」（第3回）の一般型実用化開発タイプに採択され、今般、当社と各研究実施機関との間で共同研究開発契約を締結し、産官学連携の下で進めることとなります。

今回の活動では、以下の二点を目標とし、研究成果を肝硬変治療薬としてOP-724の薬事承認の取得に結び付けたいと考えています。

- ・ OP-724の抗線維化作用に基づく治療コンセプトの確認
- ・ 肝硬変病態の臨床エンドポイントに繋がる非侵襲的線維化マーカーの実用化

今後、当社を代表機関として治験や非臨床試験を推進し、分担機関である以下の研究実施機関と協力し非侵襲的な肝線維化マーカーを探索するための基礎研究及び臨床研究を実施する予定です。

- ・ がん・感染症センター 東京都立駒込病院
- ・ 公益財団法人 東京都医学総合研究所
- ・ 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
- ・ 国立大学法人 九州大学
- ・ 国立大学法人 金沢大学

当社は、未だ国内外に明確な治療効果を示す肝硬変の抗線維化薬がないことを踏まえ、この度の研究開発を通して、肝硬変の患者様とご家族のベネフィット向上への貢献を目指してまいります。

【OP-724 について】

OP-724 は、株式会社 PRISM BioLab が創製した化合物（同社開発コード：PRI-724）で、Wnt/ β -カテニンシグナル伝達系の活性化を抑制する CBP/ β -カテニン阻害薬です。元来、がんの治療薬として開発が進められていましたが、東京都医学総合研究所において、肝硬変モデルマウスの肝組織像に対する抗線維化作用が確認され、AMED 医療分野研究成果展開事業「産学連携医療イノベーション創出プログラム（ACT-M）」の支援を受け、東京都立駒込病院において肝硬変の患者さまを対象とした医師主導での第 I 相臨床試験が終了しています。現在は、AMED 橋渡し研究戦略的推進プログラムシーズ C として九州大学拠点の開発支援を受け、東京都立駒込病院を中心とした医師主導治験を実施中です。当社は、2018 年 5 月 24 日に、株式会社 PRISM BioLab から OP-724 を導入し、同社が進めてきた開発を引継ぎました。

◆本件に対するお問い合わせ先◆

大原薬品工業株式会社

担当：早川（はやかわ）、井用（いよう）

Tel : 03-6740-7701 FAX: 03-6740-7702